

東アジア・オーストラリアの主要六都市に住む消費者で日本を観光で訪れたい人が九割近くに上り、特に香港や台北で急増していることが、日本経済新聞が実施した「訪日意向調査」で分かった。訪れたい観光地では北海道の人気が高く、温泉や食に関心のある消費者を引き付けている。(詳細を30日付日経MJに)

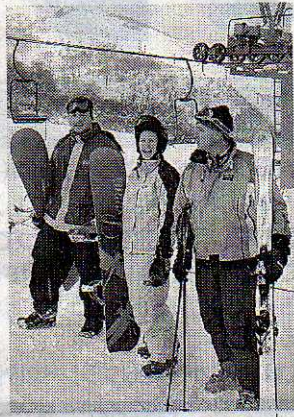
調査は北京、上海、ソウル、香港、台北、シドニーの六都市に住む計三千人を対象に三月中旬に実施。調査実務は調査会社のヤフーバリューインサイトに委嘱した。

東アジア・豪州6都市の消費者

観光で訪日 86%が希望

訪ねたい日本の観光地ベスト10
(複数回答、丸数字は順位、数字は%)

①	北海道	50.0
②	東京	41.9
③	富士山	31.6
④	東京ディズニーランド・ディズニーシー	22.9
⑤	大阪	15.7
⑥	京都	15.2
⑦	沖縄	12.6
⑧	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	6.9
⑨	別府温泉	6.3
	広島	6.3



スキー場で楽しむ訪日観光客(北海道倶知安町)

観光で日本に「行ってみたい」と答えたのは全体の八六%。二〇〇四年と、前回の八六%から九二%に実施した同様の調査と比較できる四都市(北京、シドニーを除く)に限ると、前回の八六%から九二%に訪日希望は高ま

本社調査 食事や温泉に興味

訪日目的(複数回答)の一位はソウル、上海が「温泉につかる」、北京が「自然を見物」、香港が「買い物」など地域による違いが色濃く、ただ目的に「買い物」や「食事を楽しむ」を挙げた人が比較可能な四都市ではどこも前回より増えており、日本観光の魅力の幅が広がっている。

「日本に行くとしたら訪ねてみたい観光地」(同)では北海道が前回に続いてトップ。回答六都市中四都市でも一位だった。

る。中でも香港は一八%、台北も一四%増えた。